

君津市国際交流協会 会報

No.7

Kimitsu International Exchange Society (KIES)

1998年8月発行

〔発行〕KIES〔編集〕総務広報委員会
〒299-1152 君津市久保2-11-21 Tel.(54)9877

郵便物やFAXは下記へ

君津市企画部国際交流室

〒299-1192 君津市久保2-13-1

FAX (56) 1628 TEL (56) 1265

いやさか踊り

日中米がそろい踏みKIES連

君津市民ふれあい祭り

第3回君津市民ふれあい祭りのいやさか踊りが8月9日(日)君津駅前ロータリーを会場にして開かれました。君津市国際交流協会からもKIES連(約40名)が参加し踊りを盛り上げました。

KIES連には外国人の会員も10数名が参加し、「踊り」や「ゆかた」、「夜店」などの日本のお祭りを体験し、日本文化の一端にふれた楽しい思い出作りをいたしました。

外国人の参加者に体験した感想を聞いてみました。

日本ノ踊リハ楽シイネ 外国人参加者の感想

◆ラッセル・キースさん(アメリカ)

踊りの列に参加して君津市民のエネルギーを強く感じました。

市民の皆さんが祭りを楽しんでいるのを見て嬉しく思いました。

私自身も踊りを楽しみましたが、単純な踊りながらも、ずっと長く続けて踊るのが面白く感じました。

早くから準備していた人たちを見て、またKIESの人たちが協力して盛り上げたのを見て、感激しました。

◆宮崎晴美さん(中国)

ゆかたを初めて着て嬉しかった。



盛り上がったKIES連

日本の踊りを初めて体験し面白かったです。中国にも似たような踊り「秧歌」があります。来年も参加したい。

◆沢田朋子さん(中国)

踊りが楽しかった。それに配られたジュースを4本も飲んでしまいました。

休憩時間に市長さんと一緒に写真を撮ったのが嬉しかった。

◆高梨由美さん(中国)

去年も参加したが今年はもっと楽しかった。これから毎年参加したい。

日本の踊りは大好きです。皆さんと



先頭に立つラッセル・キースさん

一緒に踊って楽しい。浴衣を初めて着たのも嬉しかった。

KIESの皆さんはみな優しく親切

です。だから今日は楽しい1日になりました。

市長さんと一緒に写真を撮ったので心の中は幸福で一杯です。

◆呉相国さん (中国)

踊りに初めて参加しました。日本の人たちと一緒に踊って楽しかった。

◆斉勇さん (中国)

今日は日本に来て一番嬉しかった日です。お祭り、踊りを初めて体験し本当に楽しかった。

終わった後の反省会で皆さんといういろいろお話しができたのも楽しかった。

◆郭明傑さん (中国)

踊りが大好きです。日本で初めて踊りを体験しました。面白いです。

女性のゆかた姿がきれいでした。

反省会で食べた巻き寿司もおいしかった。



写真は感想を語った中国の人たち

前列右から

高梨由美さん、沢田朋子さん、宮崎晴美さん

後列右から

呉相国さん、郭明傑さん、斉勇さん

君津市観光振興基本計画 策定委員の委員を推薦

君津市では21世紀に向けた観光振興の長期的・総合的な指針となる、平成12年度を初年度とし、平成21年度を目標年次とした「君津市観光振興基本計画」を策定します。

協会を代表して西本昭子都市交流委員長が策定委員会委員として参加します。

生涯学習フェスティバル 実行委員の選任

「やさしい心の通いあった地域社会」の創造といっそうの学習機会の創出を目的に、第4回生涯学習フェスティバルが11月14日開催されます。

その実行委員に協会から次の3名が選任されました。▽志村寿昭 (事務局長) ▽粉美佐子 (文化交流委員) ▽稲角浄江 (語学委員)

地引き網は交流のネット

市の友好都市天津小湊町との交流

都市交流委员会の主催で6月6日 (土) 天津小湊町の鯛のまち国際化推進協議会との交流会を開きました。参加した都市交流委員長の西本昭子さんの感想文を紹介します。

前日から雨模様、天気予報でも当日は雨の確率が高く、メインである地引き網ができるのかどうかとても心配でした。が朝8時、天津小湊町からの連絡によると、むこうは雨もひどくなく地引き網OKということで、関係者一同ホッと胸をなでおろしました。

参加者36名を乗せたバスは1時間弱で天津小湊町役場前に到着。すぐ裏に



わんぱくハウスで活発に意見交換

広がる海岸で地引き網の始まりです。

海の小船から網を投げ、その両端を私たち君津市国際交流協会と鯛のまち天津小湊国際化推進協議会のメンバー約50人が二手に分れて網を引くのです。かなりハードな網引きを小1時間…。あとで腕や腰が痛くなった方も多いのではないのでしょうか。それも屈強な海の男 (カッコイイ!) 漁師さんたちが手伝ってくれて、なんとか大きな網を引き上げることができました。

もう一つの心配一魚がかからなかったら、どうしよう?—をよそに、網の中にはピチピチとたくさんの魚がはねています。大小のアジを始めとして、青く美しいトビウオやヒラメ、エイ、フグ、カニなど予想以上の収穫に皆大喜び。フグをつついてふくらませて遊んだり、小さなカマスを手開きにして



楽しかった地引き網

食べたり、漁師さんがエイの毒をとってさばくのを見たり、海の町ならではの楽しい経験に皆童心にかえって、素敵な笑顔が見られました。

その後、山のふもとに建てられた木造りのわんぱくハウスで、昼食と交流会にうつりました。協議会の方たちが早速とれたてのアジをたたきにして美しく盛り付け、新鮮な魚の味噌汁も用意して下さり、お弁当も一段とおいしくなりました。交流会では自己紹介、質疑応答、地名読みクイズなどして楽しく過ごし、参加者全員が親善大使となって交流していただいたことをうれしく思います。

中国語教室のミニパーティー 語学委員会



毎週火曜と土曜に中国語教室が開かれ約30名の会員が中級コースと入門コースに分れて学んでいます。

日頃の学習で中国の人と中国語で会話することはあまりありません。覚えた中国語を使って市内在住の中国の人たちと直接会話したいという要望に応じて企画されました。

中国の人が7名、中国語の講師2名、中国語のできるアメリカ人1名をかこんでゲームや中国語の歌の合唱、などを楽しみました。

一番人気のあったのは「インタビューング」です。参加者は決められた項目を9人と会話して相手の名前を記録しておきます。司会者が参加者の名前を書いた紙を一枚ずつ読み上げてビンゴを競いました。そのあと「鉄腕アトム」を中国語で合唱しました。

日中友好の一つの活動として楽しい一時をすごしました。

英語入門講座と中国語入門講座の 修了式・ミニパーティー

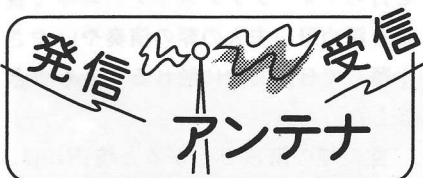
語学委員会では今年5月から3ヶ月で修了する英語入門講座と中国語入門講座を開設してきましたが7月末で修了式を迎えました。

中国語講座は田口幸枝さんの指導と中国人女性の高梨由美さん、沢田朋子さんの協力で、英語講座では中学校で英語指導助手をしているフィッシュさん、レイトンさん、マックファーソンさんたちの指導で進めてきました。

7月25日(土)の修了式は日頃の学習成果を発表したりゲームを楽しんだりしてお別れしました。

中国語講座の受講生は3人一組の班

にわかれて中国語の寸劇を演じました。英語講座の受講生はスタッフの岡田さん、西本さん、金子さんの指導でアルファベットを使ったハンギング・ゲーム、フルーツバスケット(椅子取りゲーム)、英語の歌の合唱などで楽しい一時を過ごしました。



インターネット操作説明会 総務広報委員会

総務広報委員会主催のインターネット操作説明会が6月27日(土)に開かれました。私たちの活動にインターネットによる情報収集を活用しようというのが狙いです。



第1回目ということで各委員会のリーダーの皆さんを中心に12名が参加しました。将来は一般会員の先導役が期待されています。講師は総務広報委員会の東脇真幸さんです。

今回説明を受け体験したのはインターネットの機能のうちホームページを見る機能です。講師の説明を聞きながら、協会に設置してあるパソコン操作を体験しました。パソコンに触るのが初めての人がほとんどでしたが、今後の補講や会員同士の練習でさらに力を付けることができると思います。

今後、一般会員を対象に説明会を予定していますので、ご期待ください。

アウトドア・リーダー研修会に 代表2名が参加

千葉県立神崎青年の家主催のアウトドア・リーダー研修会が6月27・28日に同青年の家で開かれました。当協会を代表して池田須栄子さん、千葉淳子さんが参加しました。千葉さんの感想文を紹介します。

「協会に入って3年、レクリエーションの基礎を学びたくて参加しました。包丁ひとつまともに使えない大学生たちに混じってキャンプの食事づくりや後片づけに頑張りました。また野外救急法、キャンプファイヤーの講義と実習がありました。

わずか1日ではまだまだとっかかりにすぎませんが、学んだことはこれからどんどん生かしてゆきたいし、機会があればいろんな研修にも参加してゆきたいと思っています。」

フランスから留学生 日本語教室先生が協力 語学委員会

フランスから千葉国際高校に1人の女子高校生が留学生としてやってきた。学校側からその間に日本語教授を、との依頼があり日本語教授ボランティアで引受けた。

ワクワクしながらオデッサとの出会いを待った。日本語ボランティアたちは週5日、一対一での指導予定を組み、電話でオデッサの進み具合を確認し、連絡を密にして指導。彼女の方も毎日日記をつけ、復習もこなしていた。

指導目標を「感想文が書けること」に置き、最後の1週間は書くことに重点を置いた。言葉も文字もまだまだだったが、7週間の努力の積み重ねが最終日には見事に実を結んだ。日本の蒸し暑さと蚊に苦しんだオデッサの逃げなかった強さに脱帽。彼女の素直な心に感動。オデッサと出会えて良かった。

(岡田・記)



そうめん初体験のフランスからの
留学生オデッサさん

自分の世界が広がった

能 星 雅 子



7月20日の海の日に「国際交流パーティーin小糸観音堂」が百名を超える参加者を得て盛大に開催されました。

この観音堂は、昭和45年に当協会の会員でもあります野口薫氏が、大正9年に焼失したままになっていた観音堂を、浄財の寄進を得て再建されたものです。

その野口氏のご好意で、境内全てを

千葉県市町村国際交流協会 連絡会議で意見交換

千葉県下の各市町村の国際交流協会の相互の情報交換と連携強化等を図る目的で(財)千葉県国際交流協会主催の連絡会議が今年も7月16日(木)幕張メッセで開催されました。

当協会から志村事務局長、市国際交流室から長谷川室長が出席しました。会議の概要は次のとおりです。

◆出席参加市町村は28市町村

各国際交流協会の平成10年度の活動計画の発表と質疑応答

◆問題提起と意見交換

野田市国際交流協会から「外国人子女教育支援活動と国際交流のあり方について」、八日市場市国際交流協会から「日本語教室の講師の養成等について」、白井町国際交流協会から「友好姉妹都市との市民レベルでの交流について」などが提起され、個別に意見交換をしました。

そうめんがとりもつおいしい交流

国際交流パーティーin小糸観音堂

恒例となった「国際交流パーティーin Kimitsu」も今年で3回目を迎えました。当協会のメインイベントであるこの野外パーティー、今年は昨年に引き続き小糸の観音堂で7月20日(月)の海の日に開催されました。

文化交流委員会が中心になって準備を進めてきましたが、大勢の皆さんの協力もあり、参加者は大人子供合わせて120名という盛況でした。外国人の会員も約15名参加して国際交流を深めました。

開放して頂いてのパーティーでした。

「涼暉荘」という庵の中でそうめんを楽しみ、外ではバーベキューに舌鼓を打ちフォークダンスやゲーム等で親睦を深め野口夫人の琴の演奏やいやさか踊りで日本文化に触れることもできました。

堂の横の階段を上がると境内には、慈愛に満ちたお顔の「慈母観世音菩薩



ゲームに興じる参加者たち

像」がお迎えしてくれます。わが国彫刻界の巨匠北村西望氏屈指の門弟、橘禅寺の橋本活道住職の会心の作ということです。その前には看経堂という書物を読むための堂があります。

今回一緒に参加しました中1の長男が、その堂の中に置いてある1冊の古い英語の本をきっかけに、日本の中学生に英語を教えていらっしゃるシェーマスさんという方と交流ができ、非常に喜んでおります。

自分の世界を広げる手段として、異言語を習得する必要性も肌で感じる事ができたと思います。次回はもっとたくさんの外国の方に参加していただけるよう、声掛けをしたいと思います。

会員が築く みんなのKIES 専門委員会 委員募集！！

本協会には現在、約490人の個人会員と、24の団体・法人会員があり、さまざまな交流活動が行われています。

しかし、各専門委員会に所属し事業の企画や実施に携わっている会員は限られております。

充実した交流活動を行うには、いろいろな知識や資格、能力を持った方の参加が必要です。是非、次のいずれかの専門委員会に所属し、あなたの能力を活かしてください。

●総務広報委員会

主に会報・ニュースの作成や会員管理、インターネットによる情報発信

●都市交流委員会

海外や国内の都市との交流、国際理解セミナーの開催、ホームステイ・ホームビジット活動

●文化交流委員会

在住外国人との交流や異文化交流会の開催、地域イベントへの参加、会員交流活動

●語学委員会

在住外国人への日本語教室、会員のための外国語講座

※会員募集も併せて行っていますので、是非ご入会ください。

◎問い合わせ・申し込み先

君津市国際交流協会事務局
電話0439-56-1265

(君津市企画部国際交流室内)